

# 自衛隊福島地方協力本部

陸上自衛隊 郡山駐屯地  
東北方面特科連隊第3大隊第5中隊

東北方面隊唯一の野戦特科部隊として、155mmリゅう弾砲(FH-70)を操作し、火力支援任務の一端を担っています。



入隊9年目 3等陸曹  
伊藤 大晴さん(26)

「入隊したきっかけは、自衛官として国と家族のために働く姿に感銘を受けたこと、やりがいのある仕事をしたいと思ったことが入隊のきっかけです。」

「自衛隊の雰囲気や環境は、目標に対して部隊が一丸となって取り組む、隊員同士が支え合っている業務を行っている。また、写真の隣に写っています。」

「プライベートの過ごし方は、休日はキャンプをすることが楽しみの一つであり、妻とともに野営で培った技術をアウトドアに活かして、家族との時間や趣味の時間を大切にしています。」

公務

住所:福島県福島市花園町5番46号 福島第二地方合同庁舎2階  
電話番号:024-531-2351



採用情報は  
こちらから

第6高射特科大隊  
高射中隊(高射特科)

第6高射特科大隊の骨幹中隊として国防や災害派遣等の任務の一端を担っています。



入隊4年目 射撃小隊 陸士長  
円谷 美晴さん(21)

「自衛隊の雰囲気や環境は、働きやすい環境だと思います。ハラスメントについては特に厳しく、ハラスメントに関する教育研修があったり、部隊相

「仕事を通じて成長できたことは、時間を計画的に使うことです。入隊当初は、時間に追われる一方で、現在では仕事に対して優先順位をつけることで、時間的に余裕を持たせることができ、その結果仕事も楽しく感じています。」

「仕事の大きさややりがいは、隊員の食事や給料に関する資料の作成など、日々様々な業務を行っています。隊員の食事は、部隊の活力となるので、責任重大ですが、それと同じくやりがいも感じています。」

平和を守る  
それが  
しごとです。

詳しくはこちら

福島地本

自衛隊福島地方協力本部

県運営が信頼の証。福島県の企業情報ポータルサイト『感動!ふくしま』プロジェクト

## ふくしまで働くを考える第一歩

世界クオリティの仕事を、君と地元で。

運命の仕事は、ここにあり

『感動!ふくしま』プロジェクト

- ふくしまを知る
- 就職・就活・転職に役立つ情報
- 県・市町村の支援情報
- ふくしまでのキャリア形成
- 地域・移住情報
- Fターンガイド

『感動!ふくしま』プロジェクトから、ふくしまの就職・転職に役立つ情報が届く!

まずはLINEで友だち登録!

LINEアプリの友だち追加メニューから「二次元コード」を選択!  
「二次元コード」を読み込んで「感動!ふくしま」プロジェクトを追加

福島県 雇用労政課

## 福島市

### ふくしま市産官学連携プラットフォーム

### 事業紹介 福島の子カラ

#### ふくしま市産官学連携プラットフォームとは



公式サイトはこちらから



大学生が福島市の企業を取材!地元の魅力をリアルに発信!「実際の職場の雰囲気は?」「社員の本音が知りたい!」そんな疑問を解決するのが福島の子カラ!地元の大学生が企業を取材し、リアルな視点での魅力を動画で発信するプロジェクトです。

✓ 学生目線で分かりやすく紹介!  
▶ 会社の強みや職場の雰囲気が伝わる!

✓ インタビュー動画でリアルな声を聞ける!  
▶ 「実際の働き方ってどうなの?」に答える情報が満載!

✓ 企業のトップや社員の本音を引き出す!  
▶ 「この仕事のやりがいは?」「将来のビジョンは?」など、気になる質問を深掘り!

今まで取材した  
企業の動画は  
こちらからチェック!



## 株式会社福島民報社

情報通信業

創刊130年余。「地域づくり会社」として  
県民の皆さんとともに歩んでいます。

住所:福島県福島市太田町13-17 電話番号:024-531-4111



企業情報は  
こちらから



入社5年目 印刷局印刷部  
佐藤 昌俊さん(23)

「入社したきっかけは、小学生の頃、夜の工場見学に参加したことがきっかけで、新聞製作に興味を持ちました。巨大な輪転機がものすごいスピードで新聞を印刷して梱包し、次々とトラックに積み込まれていく様子が印象的でした。新聞印刷の作業に魅了され、新聞づくりに興味を持ちました。」

「学生時代に頑張ったことは、高校時代は、ドローン研究部に所属し、操縦練習に励みました。夏休みなどは地域のドローンイベントにボランティア参加し、体験操縦をサポートしました。最初はいまうまく話せなかったり、操作に戸惑うこともありましたが、自主練習を重ねるうちに自信ができました。この経験を通じて、技術と同時に人とかかわることの楽しさや成長の大切さを実感しました。」



入社5年目 システム・グラフィック局システム部  
宝槻 幸輝さん(22)

「どんな業務を担当していますか。」  
新聞製作システムの保守管理を担当しています。エラーが発生した際に、迅速に解決できるように努めています。また、記者が使うパソコンの設定や管理、スポーツイベントの成績データを新聞掲載用に処理する作業も行っています。

「仕事を通じて成長できたことは、学生時代と比べて時間の使い方が上手になっています。入社当時は仕事を覚えることに精一杯で、一つのことにだけに集中しがちでしたが、今はいろいろな仕事を効率的にこなせているような気がします。」

「会社の雰囲気や環境は、職場の皆さんは優しい方ばかりです。困っている時に丁寧に教えてくださるので、安心して仕事に臨むことができます。社員研修など交流の機会もあり、コミュニケーションを取りやすいです。」